

A 中期的目標 めざす学校に向けて

- ICT機器等の活用・キャリア教育の視点を
取り入れた授業改善・研究
- 学習意欲を向上させる適正な評価の実践
- キャリア教育の充実で、主体的に学ぶ意欲の育成
- 教育相談の充実で、生徒の自己肯定感の向上
- コミュニティスクールと連携した、
課題解決型学習の実戦

B 今年度の重点目標と方策 1～7

1 未来に向けて (個別目標1)

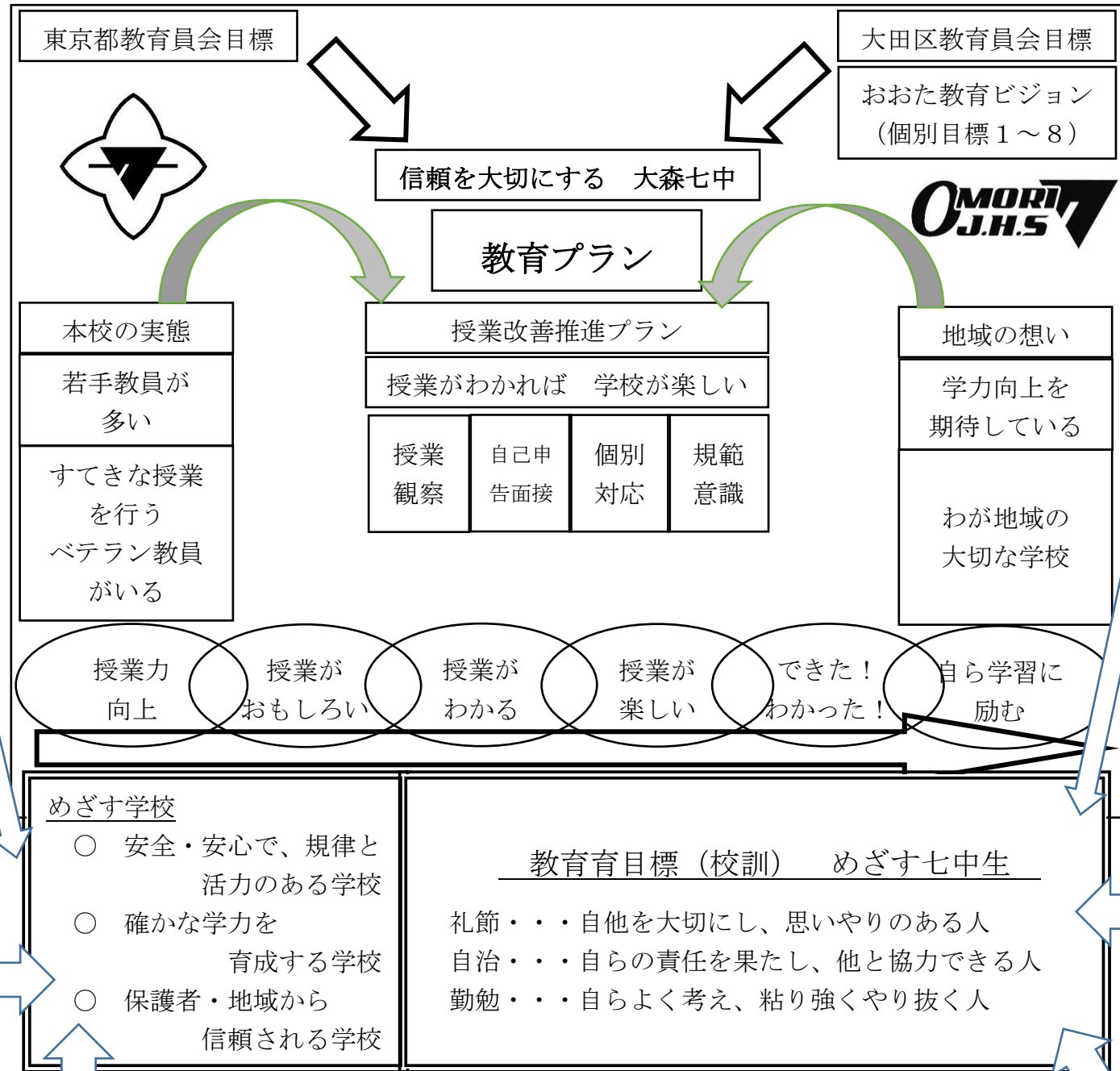
- ～主体的に考え、行動し、協働していく力を育てる～
- ◇ キャリア教育の積極的な推進
 - ◇ キャリア・パスポートの効果的な活用
 - ◇ 職業調べ・職場体験学習の充実
 - ◇ 進路学習・進路指導の充実
 - ◇ 総合的な学習の時間の工夫・改善

2 思いやりの心を育てる (個別目標3)

- ◇ オアシス運動【鶴の木地区】の推進
- ◇ 特別の教科道德の充実
→生徒が考え、議論する道德の授業づくり
- ◇ 豊かな体験活動の充実
→移動教室・社会科見学等
- ◇ コミュニケーション力の向上
→生徒の良い点を積極的に
見つけ、認め、励ます活動
- ◇ 環境美化に気がつく生徒の育成
- ◇ 特別支援教育体制の充実
→SR・SSW・SCとの連携の充実と強化

3 特別活動・学校行事の充実 (個別目標3)

- ◇ 生徒会活動を中心に、
「礼節・自治・勤勉」の校風を育てる
- ◇ 自己有用感を育てる学級づくり
- ◇ 学校行事を通して生徒が主体的に活動
→達成感・自己肯定感を培う
- ◇ ボランティア活動への積極的な参加を促す
- ◇ 部活動の適正な活動



7 地域に開き、信頼される学校 (個別目標7)

- ◇ 情報の積極的な発信と受信
(学校ホームページの充実等)
- ◇ 小中一貫教育の充実と発展・連携
- ◇ コミュニティスクールとの連携
- ◇ 地域行事へのボランティア積極的な協力
- ◇ 地域人材の積極的な活用
- ◇ 学校防災拠点事業への協力・連携

6 学力の向上・定着 ～学校生活の中心は授業～ (個別目標2・5・6)

- ◇ 授業規律の確立・チャイム始業の推進
- ◇ 個別最適化した学習指導の工夫
→ICT機器の効果的な活用
- ◇ 学習意欲を向上させる適正な評価の実践
- ◇ 各調査の分析
→授業改善プランの作成・実践
- ◇ メディアセンター(図書室・PC室)の活用
→読書学習司書の活用
- ◇ キャリア教育の視点を取り入れた授業改善
- ◇ アクティブラーニングを取り入れた授業の推進
(思考の活性化)
- ◇ 体力向上を目指す教育活動の充実

4 教職員の使命と責任 (個別目標4)

- ◇ 学校教育の向上を目指す目的意識の高い教員
- ◇ 教員としての資質・能力の向上を目指す(授業力向上)
- ◇ 教職員の創意・工夫・企画力の向上
- ◇ 授業公開とOJTの実施
- ◇ 保護者との対話と連携による信頼の構築
- ◇ ICT機器の活用技術の向上と積極的な実践
- ◇ サービスの厳正
「服務事故を、しない、させない、許さない！」

5 生活指導の充実 (個別目標5)

- ◇ 「子どもの心サポート月間」を中心とした各種調査の分析
→生徒理解の深化(面談等の充実)
- ◇ 「早寝・早起き・朝ごはん月間」を通して、基本的な生活習慣の啓発
→家庭と連携した、心と体の健康づくりの推進、食育の推進と体力向上
- ◇ 不登校生徒への丁寧な対応と、家庭との協力体制を充実
- ◇ 課題に対し、初期段階での的確な指導、組織的で速やかな対応
- ◇ 予防的対応への取組 → 情報共有・日常の生徒とのふれあい
- ◇ 防災意識の向上、災害時判断力の育成
- ◇ 主体的な生徒会活動の推進